

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	独立行政法人地域医療機能推進機構	階数	地上7F
建設地	さいたま市北区宮原町1丁目851番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年10月16日
敷地面積	14,000 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	4,441 m ²	確認日	2018年10月17日
延床面積	15,325 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> F☆☆☆☆を採用する等の室内環境、空間のゆとりを確保する等の、サービス性能への配慮を行う。 緑化を行い敷地内外環境への配慮、リサイクル材を多用し、資源の確保に努めている。 熱負荷の抑制に努め、省エネ性能に配慮している。 		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 高い昼光率を確保している。F☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮している。 自然換気、取り入れ外気への配慮を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 病室は広さ感に配慮されている。 防汚性の高い、建材を採用し維持管理に努めている。 耐用年数の長い給排水管を採用している。 階高、壁長さ比率を確保し、空間のゆとりを配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外構緑化、建物緑化を行い、建物内外への配慮を行う。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 高性能断熱材、複層ガラスを採用、建物の熱負荷抑制に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル材を多用している。 LGST下地、OAフロア採用等、解体時におけるリサイクル性も高い。 防水工事のプライマー採用等、化学物質の使用削減に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場、駐車場、管理用駐車場、出入り口4ヵ所設置等、交通負荷の抑制に配慮している。 チェックリストの一部、配慮事項の過半を満たす等、光害の抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される